

## 日経テレコン《丸三証券版》がスマホで使いやすくなります

2016/5/19

2016年5月19日21時頃より、日経テレコン《丸三証券版》の画面をスマートフォンにも対応したデザインに変更いたします。この変更により、スマートフォンで記事が読みやすくなるなど、日経テレコンが使いやすくなります。なお、同時にパソコン用の画面もデザインを変更いたしますが、機能や操作方法の変更はございません。

### パソコンで開いた画面(2016年5月19日21時以降)

丸三証券 > ヘルプとサポート > ログアウト

記事検索 ● 企業検索

検索 詳細条件を指定

日経テレコン

● ニュース ● きょうの新聞 ● 記事検索 ● 企業検索 ● テーマ検索

ニュース > 日経速報ニュース > 全ニュース > 「サミット目前」の検索結果 1 件 > 本文

## ニュース

キーワードを入力してください 検索

### 政策相場に期待じわり サミット目前、海外勢が注視 スクランブル

2016/05/14 02:00 日経速報ニュース 1233文字

印刷

13日の日経平均株価は5日ぶりに反落したが、週間で約2%高としっかりしていた。決算発表を大きな波乱もなく通過し、市場の関心はミクロから再びマクロに向かう。年初から日本株の売り越しが目立つ海外勢だが、水面下で日本に熱い視線を送り始めた。5月26～27日の主要7カ国(G7)首脳会議(伊勢志摩サミット)まで約2週間。関心の根っこには、議長国・日本が率先する政策相場への期待がある。

BNPパリバ(証券)の岡沢恭弥グローバルリマーケット統括本部長は来週から北米の投資家を訪問する。定期的を訪れているが「今回はいつもと様相が違う」。

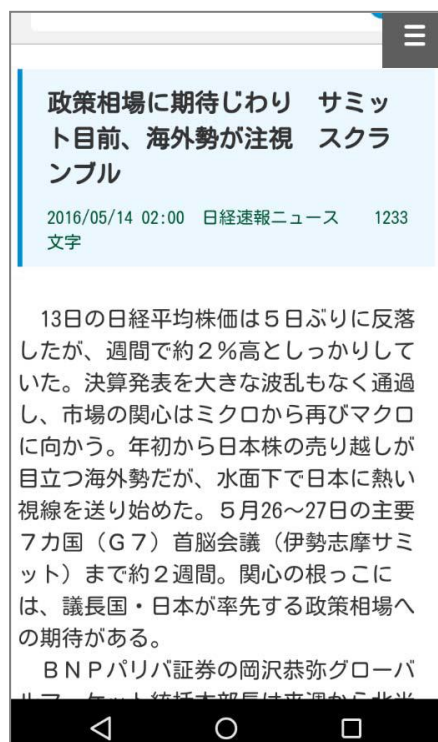
名だたるヘッジファンド大手などの面談がぎっしりと埋まったからだ。しかも普段は表に出ない運用責任者自身が出席する会合も多いという。「消費増税先送りは織り込み済み。彼らはサミットで日本がどんな財政拡大をぶちあげるのかを探っている」

米トレードウィンズ・グローバル・インベスターズで日本株を担当するピーター・ボードマン氏も「日本経済の底上げには景気刺激策が必要だ」と次の一手を注視する。

東京証券取引所が13日発表した5月第1週(2～6日)の売買動向によると、海外投資家は2週連続で売り越した。だが、今週に入り「決算発表を見極めつつ、少しずつ海外マネーが戻り始めた」(国内証券トレーダー)との証言がある。

13日までの1週間について全部で36ある業種別日経平均の値動きを見ると、上昇率トップは「建設」の5.6%高だった。好決算に加え、インフラ投資といった財政出動を市場が織り込み始めた可能性がある。

### スマートフォンで開いた画面(2016年5月19日21時以降)



以上